

学科通信(G) 【第13号】

◇実りの秋

稲刈りをしている様子を見ると、「昔は全部人の手でやったんだよなあ」と毎年思うとともに、農業技術の進化に驚かされます。10年前や20年前には想像もできなかったことが手の上に乗っていたりします。これからの10年20年はどうなっていくのかしら、なんて考えてしまいますね。

技術の進化と言えば、先日陸上の大会で後片付けをしていた時、ある高校の生徒数名がコードの絡まりを必死にほどこうとしていました。しばらく見ていたのですが、一向にほどける気配が無かったので手伝うことにし、すぐに絡まりをほどいてあげました。そして、「昔はコントローラーとかイヤホンとかこんな風に絡まって大変だったよ～」なんて語ってしまいました。面識もない人にこんなことを言われたら警戒すると思いますが、「勉強になります!」なんて言ってくれました。平成の風、吹かせちゃってごめんね。

何かを見るときや考えるときに点で見ると驚かないけど、線で見ると驚き、桃の木、山椒の木なんてことがあります。人も一緒に、点でばかり自分のことを見て「全然だめ」みたいに思う人もいますが、線で見たら「悪くない」くらいには考えられると思うのよね。植物も一緒かな。これからの予測できない社会をどう生きていくか。自分のこともしっかりアップデートして、しっかり生活していきましょう。齋藤

◇今月の坂先生

テーマ《 ハロウィーン 》

花材：おもちゃかぼちゃ

吾亦紅・にんにく

ススキ・蔦・菊残花



スーパーに買い物に行くと、ハロウィーン商戦真っ只中ですね。かぼちゃのお化けなどに扮した子どもたちが、「お菓子をくれないといたずらするぞ」なんてフザケタ風習なのでしょう。とは言え、坂のリビング入り口には、こんなリースを飾っています。季節の風物詩として、ハロウィーンを楽しんでいます。

さて、G2の皆さんの授業でかぼちゃのスープを作りましたね。かぼちゃのスープをいただくたびに、遙か昔の大学時代、寮生活で始めて飲んだかぼちゃのスープを思い出します。女学生には大好評で、おかわりする人が続出し、遅食の人の分を確保するのが大変だったとか…。南瓜は古今東西、女性の好物なのですね。(因みに坂は、冬至にいただく小豆南瓜が一番好きですが…) 坂

ハロウィンでよく見る大きなカボチャは「アトランティックジャイアント」として種も販売されているので、興味のある人は育ててみましょう。齋藤 10.17

